

令和 6 年度 御挨拶

北海道函館高等支援学校のホームページをご覧くださいいております皆様へ一言御挨拶を申し上げます。令和 6 年度北海道函館高等支援学校長 源 一 広(みなもと かずひろ)と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

昭和 58 年に開校し、その歴史を閉じました旧函館稜北高等学校の伝統ある校舎で、本校は最上階から見る横津の山並みと、巴の港を望む海と、臥牛の峰に守られて、スクールカラーであるセルリアンブルーと共に北海道函館高等支援学校として開校して 6 年目の春を迎えております。

本校は、「自己と、社会をつなぎ、共生社会を創造する教育の追求」を教育理念とし、教育目標として「共生社会の一員として、自ら社会に貢献する人間の育成」を掲げ、「探究」「協働」「健全」を校訓に知徳体の調和のとれた総合的な人材育成を目指しています。

現在、卒業生数は第三期生までで73名となりました。ここ道南地域を中心にそれぞれのかたちで地域で活躍しています。

ここ数年の新型コロナウイルス感染症対応の取扱いが変わり、本校の教育活動の特色の一つである「地域とつながる場」として生産技術科、食品デザイン科、福祉デザイン科、普通科の 4 つの学科が幸せを運ぶ四つ葉のクローバーの葉のように一つになって取り組む『Hako cafe clover ハコ カフェ クローバー』というカフェ運営が本格的に活動を展開できるようになってきました。

これから社会で働くために必要な資質能力を身に付ける生徒たちの「新しい学びのかたち」として、自分のためだけでなく、人のために自らができることを考え、主体的に行動すること、いわゆる働くことの喜びを知ることが大切にした学びを用意しています。そのために私たちは地域の方々のお力添えをいただきながら日々、函館だからこそできる教育活動を工夫しながら前に進んでいます。

ここ道南、函館市にある本校で、学び生活する生徒たちが、いきいきと学習に励み、卒業後立派な社会人となって実社会に出て、自らを育ててくれた地域に貢献できる人材として活躍していくことを期待しています。

本校の教育活動がより充実発展していくことが、更に地域の元気につながるよう今後も、本校は、地域と共にある学校としてあり続けることを胸に教職員一同一丸となって教育活動に取り組んでまいります。

旧稜北高等学校が地域に残した功績を、本校がその一部分でも引き継ぐと共に、これからは函館高等支援学校としてここ函館市石川町の景色の一つとなれるよう取り組んでまいりたいと思います。

今年度は、学校運営協議会との協働で学校サポーターを募集し、学校を支えていただいている皆様のお力をより具体的なものとして、何ができるかを一緒に考えていくことができればと考えています。

北海道函館高等支援学校に関わる多くの方々、地域の皆様におかれましては、本校の教育活動に御理解と御協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。また、皆様の今後の御健勝と御活躍を祈念し御挨拶といさせていただきます。

令和 6 年 4 月 1 日

北海道函館高等支援学校長 源 一 広

